患者様用

脳梗塞（アテローム血栓性脳梗塞）で治療を受ける患者さまへ

患者氏名：　　様　　受持医：　　受持看護師：

月 日(日 時)	／	／	／	／	／	／
経 過（病日等）	入院1日目	入院2～6日目	入院7日目	入院8～10日目	入院11～13日目	入院14日目
達成目標	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆肺炎・褥瘡・痙攣重積などの合併症がない ◆入院の必要性を、患者・家族が理解し同意する ◆退院基準を理解し、同意する	◆意識障害・麻痺・構音障害 ◆感覚障害が増悪しない ◆肺炎・褥瘡・痙攣重積などの合併症がない ◆リハビリが開始できる	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆肺炎・褥瘡・痙攣重積などの合併症がない ◆適切な再発予防薬を導入できている ◆転院（退院）について患者・家族が理解する	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆肺炎・褥瘡・痙攣重積などの合併症がない ◆点滴治療が終了している	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆肺炎・褥瘡・痙攣重積などの合併症がない	【退院基準】 ◆神経症状が安定している
治療 薬剤 （点滴・内服）	点滴を行います 必要に応じて飲み薬があります					
リハビリ	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が状態に応じたリハビリを開始します					
検査	血液検査・心電図検査・エックス線撮影・頭部CT検査・MRI検査 頸部血管エコー検査・心エコー検査・ホルター心電図検査を行ないます(1～3日目の間に行ないます)					
活動・安静度	ベッド上安静になります	病棟内歩行まで段階的に可能になります	安静度はフリーになります			
食事（食事）	制限はありませんが必要に応じて治療食になることもあります					
清潔	看護師が身体を拭きます		入浴ができます			
排泄	差し込み便器や尿器を使用しベッド上での排泄になります	車椅子でトイレまで介助します	トイレまで歩行できます			
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受持医が入院治療計画について説明します 看護師が入院生活について説明します 入院費に関する心配事がありましたら、お早めに入院支援室にご相談ください	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がリハビリ計画について説明します	看護師がパンフレットを用いて説明します 薬剤師が薬について説明します 地域連携室の看護師が転院について説明します 病棟の看護師が転院調整を行います		看護師が退院後の注意点について説明します	受持医が退院時の説明します

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります
注2：入院期間については現時点で予想される期間です

国立病院機構熊本医療センター　脳神経内科　2021年2月作成